



すまいるだより

「20年後を想像して」

vol 6

【子育てのご相談】

子育て世代包括支援センター
「えがお」（健康福祉課内）

電話 0241(62)6170

メール egao@naniwa-aizu.org

【参考図書】

「だいじょうぶだいじょうぶ」
いとうひろし 作・絵

今回は、子育て世代包括支援センター「えがお」の保健師と心理職が大切にしていくことを2つご紹介します。

ひとは「片方は誰かのために」ということ。

子どもを見てほしい人には目を。抱いてほしい人には手を。話を聴いてほしい人には耳を貸す。

つまり、相談して下さる方が笑顔になってくれるために、私たちが提供できるものはできる限り差し出したいという思いで活動しています。

ふたつめは、相談して下さった方の「お子さんの20年後を想像する」ということです。「えがお」で受ける相談には、「保育所や学校の先生に心配な点を伝えられた。家庭では何も心配していないのに…」というものがあります。

そんなとき、私たちは簡単に「大丈夫ですよ」とは言いません。それは、専門家はその教育課程で、繰り返し安易な大丈夫は「無責任である」と学んでくるからです。

きつとお家の方は、「大丈夫。心配ないですよ」という太鼓判をもらえたら楽になるのだろうな…と思いつつも、安易な気持ちで「大丈夫」と言わないように心がけています。

今の大丈夫が、20年後も大丈夫とは限らないことを私たちは知っているからです。

20年後、お子さんが「好きな職業を選択できるようになっているかな」「自分のいるところを知っている大人になっっているかな」「苦手なところを理解して工夫できる社会人になっっているかな」「困ったときに一人で抱えず、相談できる人になっっているかな」と考えて、

今できることを提案するようにしています。

それは、周囲の大人がお子さんの持つ持っている課題を理解したり、お子さんがどのように感じたり考えたりするかを理解してくれているという「安心できる環境」を整えることが必要だからです。

そそれぞれの家庭で抱える、子育ての悩みはさまざまです。なかなかおむつをはずすタイミングつかめないと悩むとかがあれば、小さい頃はいろいろ話してくれたのに、最近聞いたことにすら返事も無いと悩むこともあり。その時々で悩みはつきまません。

私たち「えがお」のスタッフは「大丈夫、心配ないですよ」と安易に答



えず、相談してくれた人に寄り添える答えを探していきます。「大丈夫」と言われなくても大丈夫。ゴールや答えのない子育てを一人で抱えずに、どうか頑張りすぎずに。

私たちの思いが、少しでも子育てを頑張る皆さんを笑顔にできることを願って、日々活動しています。